

2 農林水産大臣賞

部 門 畜産

氏 名 たになが ひでき
谷永 英樹

住 所 大山町

[経営の概要と受賞理由]

○経営形態、経営体の性格

自給飼料生産と子牛販売収入を組み合わせた酪農（家族経営）

○経営基盤

- ①労働力 経営主、弟、父、母
- ②経営規模 乳牛204頭（うち搾乳牛129頭）、牧草地1,462a
- ③生産品目 生乳、廃用牛、子牛

○生産技術等の特徴

- ①フリーストール牛舎を導入しているほか、乾乳牛舎を整備するなど、乳牛にストレスをかけない飼養管理をすることで疾病を減らし、無駄のない経営に努めている。
- ②牛舎から発生する堆肥を圃場で利用し、飼料の原料となる作物（トウモロコシ及び牧草（スーダン、イタリアン））を二毛作により栽培するなど、生産コストの削減と同時に資源の循環による安全安心で品質の安定した酪農を実践している。
- ③生乳生産の過程において、性判別精液を用いた効率的な後継牛の生産や、和牛受精卵を活用した副産物収入の確保を行っている。

○経営管理、地域活動等

- ①外国人研修生3名を受け入れて搾乳作業の担当としており、その住環境を牛舎敷地内に整備している。
- ②地元の酪農組合や大山乳業農業協同組合の役員を歴任し、地域の酪農の発展に貢献している。
- ③パソコン会計ソフトを用いて経営分析を実施し、経営改善に努めている。

○農林水産大臣賞の受賞理由

- ①主となる生産品目である生乳生産の他、副収入の確保に向けた取組や、資源循環による経費の削減に努めるなど、農業経営者として優秀である。
- ②祖父から3代続く酪農経営の中で順調に規模を拡大させており、今後も経営分析による経営の改善に意欲的である。
- ③酪農に関する組織に積極的に参画している他、外国人研修生を受け入れるなど、広く酪農の発展に貢献している。